

上越市の出身者でつくるふるさと上越ネットワーク（Jネット、和久井博会長）の定例の8月交流会「Jネットサロン」が7日、上野の東京新潟県人会館で開かれた。約40人が出席した。

今回のサロンに上越市春日新田5の魚住かまぼこ店の経営を引き継いだ上越市環境衛生公社相談役の田村博社長と竹内義光副課長が、7品セットのかまぼこ製品を持参。「直



TEL025-525-6666
メール
syutoken@j-times.jp

首都圏に関する
情報・話題を
お寄せ下さい

ふるさとの味残して

魚住かまぼこをPR

Jネットサロン

江津の食文化を絶やすわけにいきません。前社長の心意気に大いに賛同するものです」と、9月末に公社敷地内の完成を目指す新工場の装備方針や、事業継承の時代的役目を強調した。県内でも珍しい、職人技に頼る石臼練り上げの工程を継承する方針。「最新の自動製造工程にするか最

後まで迷ったが、これまでの製法と味のこだわりで、ナンバーワンではなくオンリーワンを目指す決断をした」と田村社長が力を込めると、大きな拍手が寄せられた。

試食に寄せられた感想では、「これぞ魚住というかまぼこを」「市の名物に」「ふるさとのおいしい味を残し

て」と激励が相次ぎ、「軟らかいかまぼこばかりになった。懐かしい歯こたえのある堅さが魅力だ」「食べ方やアレンジの仕方も教えて」などの声も寄せられた。



魚住かまぼこ店の事業継承へ心意気を伝える田村社長